

◆企画名	<u>KU サポートーズ主催 ワークショップ (絵を通して自分のことを知ろう)</u>
日程	<u>平成 24 年 12 月 14 日 (金)</u>
場所	<u>総合学生会館凜風館 1 階 ピア・コミュニティルーム</u>
参加者数	<u>14 名 (ピア・サポータ 8 名、研修生 1 名、一般学生 5 名)</u>
目的	

一般学生が、絵を描いたり、ジャーナリングと言う自分との対話を行うワークを体験することで、自分への新しい気づきを得たり、現在の自分自身を認められるようになることを目的とする。また、今後学生が自分自身を見つめ直す際に、現在の自分自身の状態を知る方法の一つとして、このワークを活用してもらうことを目的とする。

内 容

- ・ KU サポートーズの挨拶、企画の趣旨説明
- ・ グループでの自己紹介
- ・ 画材になれるためのエクササイズ
- ・ アートワーク
- ・ その描いたアートをグループでシェア
- ・ ジャーナリング (アートと筆談で対話する)
- ・ アートワークをして得た気づきを振り返る

感 想

事前に当日のリハーサルを行っていたこともあって、本番ではスケジュール通りにスムーズに企画を実施することができた。各サポータが与えられた役割を皆果たせていたと思う。また、始めにグループでの自己紹介を行ったおかげで学生間の緊張も次第に溶け出し、終始和気あいあいとした雰囲気が維持されたので企画自体はとても楽しいものとなった。今回のワークショップをきっかけに一般学生が KU サポートーズの活動に興味を持ってもらえるきっかけにもなったのではないかと感じる。今後も積極的にサポートーズは、一般学生に向けて相談業務以外の活動も実施していきたい。

改善点

- ・ 企画内容は良かったとしても、一般学生があまり集まらなかったのでポスターやインフォメーションでも情報を流すべきである。(日時、場所の再確認)
- ・ 興味のある層に向けてプレゼンをするべき、もしくは見せ方 (キャッチコピーや目的) を簡単に噛み砕くべき。
- ・ 知名度の高い団体ではないので、人づてでも参加者を増やすべき。また、当日参加者が少ないのならば、直接 1 階などで宣伝しても効果が表れると思う。
- ・ 広報の段階で内容があまり伝わっていなかったことも考えられるので、どういうことをするのか具体的に目的や効果を伝えるべき。
- ・ 広報をしてから 2 週間が経過してからの企画の実施であったため、風化の可能性もあるので、出来るだけ広報と企画実施の間を開けない。
- ・ 今回の企画は 18 時開始であった。そのため、早めに授業が終わる学生は待たなければいけなかった。次回以降は、開始時刻をもっと早めるべき。
- ・ 仮押さえなど、場所とりの段取りも良くするべき。